整理No.	24

平成26年度 施策評価シート（評価対象：H25年度）

【１．施策名】

施策コード	131-01	基本施策	障害者（児）福祉の充実	所管部局	保健福祉部
施　策　名	障害者理解・社会参加の促進			主担当課	障害福祉課
				関係部局課	
施策の目標	障害と障害者に関する理解の促進やスポーツ・文化芸術活動の振興などにより、障害の有無にかかわらず、相互に人格と個性を尊重し合う社会を目指します。				

【２．施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など

・障害者への理解は少しずつ深まってきてはいるが、依然として、障害者の社会的障壁等は解消されていない。また、社会参加を促進するためにスポーツ・文化芸術活動などへ参加する障害者を増やす必要がある。
・障害者理解のためのイベント等の開催や障害者スポーツ活動や障害者団体の社会活動を支援することで、障害者理解と社会参加の促進につなげ、障害の有無に関わらず共に暮らすまちづくりを推進する。

【３．施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H23）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
障害者スポーツ大会・講習会への障害者参加者数	人	317	747	807				839
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
障害者スポーツ大会や講習会への障害者の参加者数	障害者がスポーツ大会や講習会等へ参加できる環境が整えられれば、障害者の社会参加や理解が進む。障害者の増加に伴いH24から年3%ずつの増加を見込む。（H23は中止の大会があり一時的に参加者が減少。）							

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値（H23）	実績 H24	実績 H25	実績 H26	実績 H27	実績 H28	目標値（H28）
ふれあいまつり来場者数	人	18,000	18,000	18,000				18,000
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
ふれあいまつりに来場する障害者、一般市民等すべての来場者の人数	障害者と健常者の「ふれあいまつり」は平成25年度で第32回目となって定着している。会場や予算、スタッフの確保の面を考慮し、現状の来場者数の維持を見込む。							

25年度の取組内容実績	・第44回長野市障害者スポーツ大会及び障害者ゲートボール大会を開催した。また、各種スポーツ講習会及び出前講座を実施することにより、障害者スポーツ活動を推進した。 ・第32回ふれあいまつりを若里公園で開催し、障害者と健常者の交流を通し、障害者理解を促進した。 ・障害者団体社会活動事業補助金を４団体に交付し、障害者の社会活動を促進した。

【４．総合評価】

総合評価　（目標値に向けて）	順調

	評価の理由・説明等
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	障害者は各種サービスの提供を受けるだけでなく、スポーツや社会活動に参加するなど、能動的に社会参加するニーズがある。
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	スポーツ大会への参加者数は天候等に左右される部分があり、不確定要素があるが、目標を達成している。また、障害理解などは数字だけでは達成度は量れないが、社会の理解は進んでいると思われる。
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	「障害者交流補助金」、「障害者団体社会活動事業補助金」、「障害者スポーツ振興補助金」のいずれも、順調に事務事業が行われており、関係事業の活動が障害者理解及び障害者社会活動の促進に欠かせないものとなっている。

【５．今後の展開】

	課　　題	課題解決に向けた具体的な取組
1	障害者スポーツの愛好者は増加しているが、障害者全体としてはまだ少数である。また、障害者が社会参加し易い環境にまでは至っていない。	障害者スポーツ団体等への支援を継続し、障害者がスポーツに参加する機会を増やす。また、障害者団体の社会活動を支援し、障害者の社会参加を促進する。
2	「ふれあいまつり」は障害者と健常者の交流の場として定着しているが、事業内容がマンネリ化している。	ふれあいまつり実行委員会と協議しながら、今後の開催方法や運営方法について検討していく。

施策展開の方向性（H26年度以降）	障害者理解については、今後もふれあいまつり開催や、障害者スポーツ大会等の支援、障害者団体の活動支援を通じて啓発を行っていく。

【６．施策を構成する主な事務事業】

番号	事務事業名［事業区分］担当課名	事務事業の状況									
1	障害者交流補助金	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		ふれあいまつり実行委員会へ補助金を交付することにより、「ふれあいまつり」を開催する。					「ふれあいまつり」は、ここ数年は天気にも恵まれ、事業が定着したことにより来場者数は多い。				
	［補助金・金銭給付事業］	事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	障害福祉課	B	B	B	B	A	継続	1,034	1,039	1,025	1,032
2	障害者団体社会活動事業補助金	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		障害者団体等が行う団体の社会活動事業に対して、予算の範囲内で補助金を交付する。					予算の範囲内で適正な補助金を交付することによって、各団体が学習会や講演会等を行い、少しずつ障害者の社会参加が進みつつある。				
	［補助金・金銭給付事業］	事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	障害福祉課	B	B	A	A	A	継続	2,138	2,148	2,060	4,124
3	障害者スポーツ振興補助金	事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		長野市障害者スポーツ協会に対し補助金の交付及び事業委託を行うことにより、障害者スポーツ大会及び各種障害者スポーツ講習会等を開催する。車いすマラソン大会の開催を支援するため、実行委員会へ負担金を支出する。					新型インフルエンザの蔓延や、東日本大震災の影響によりスポーツ大会の自粛もあったため一時、参加者が減少した。障害者スポーツ出前講習会の実施などにより平成24年度から参加者は大幅に増加し目標を達成することができた。				
	［補助金・金銭給付事業］	事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
	障害福祉課	A	A	A	A	A	継続	8,143	11,760	11,091	11,075
4		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26

5		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
6		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
7		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
8		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
9		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26
10		事務事業の概要					事業の取組実績・成果				
		事業の分析結果						年度別事業費（千円）（H26は予算額）			
		達成(進捗)状況の評価	必要性	妥当性	有効性	効率性	今後の方針	H23	H24	H25	H26